

# 年間スケジュール 臨地研究

実施先：台湾のまちづくり関連NPO法人

## <海外でのインターンシップの例>

学生の専門：歴史学（中国史）

副指導教員の専門：コミュニティ政策

	授業計画	主な担当	授業内容
4月	第1回 オリエンテーション	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の研究対象（中国史）を確認した上で、到達目標を提示する。</li> <li>・学生が行ってきたフィールドワーク等について報告を受け、受入機関の検討を始める。</li> </ul>
5月	第2回 課題の設定、研究手法（調査手法）についての講義	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ政策分野の研究手法（調査・整理・分析手法）について学ぶ。</li> <li>・フィールドワーク／インターンシップ等への適用について検討する。</li> </ul>
	第3回 研究手法（整理・分析手法）についての講義		
6月 7月	第4回 実施計画の立案、受入れ機関選定	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画を立案する。</li> <li>・受入機関を決定し、受入の可否、期間等を打診する。</li> <li>・計画書が分野横断・融合的計画書になっているか検討を加え、先方からの受入許諾を受けて、実施計画を確定する。</li> <li>・リスクマネジメント、メンタルヘルスに関する指導を行う。</li> </ul>
	第5回 実施計画書の作成・リスクマネジメント、メンタルヘルスに関する指導		
	第6回 実施計画書の検討・策定		
8月 9月 10月	第7～第12回 フィールドワーク・インターンシップ等の実践	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾に渡航し、まちづくり関連NPO法人でのインターンシップを60時間以上実施するとともに、資料収集を行う。</li> <li>・実践活動期間中、オンラインシステム等を用いて定期的に遠隔指導・助言等を行って、円滑な実施及び問題発生時の早期解決を図る。</li> <li>・受入機関でワークショップを開く等により、自らの専門知識や研究成果を説明、伝達し共有化を図る。</li> </ul>
11月	第13回 ワーキングペーパー作成に対する指導	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践活動終了後、活動報告書であるワーキングペーパーの作成にあたって、コミュニティ政策分野の手法の適応を含めて議論する。</li> </ul>
12月	第14回 ワーキングペーパー作成	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングペーパーを作成し、提出する。</li> </ul>
1月	第15回 フィードバックとまとめ	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会を開き、多元的情報収集、分野融合・学際的視点に関する研究基盤が形成されているかを議論して、フィードバックする。</li> </ul>

# 年間スケジュール 臨地研究

実施先：男女共同参画関連機関

## <国内でのフィールドワークの例>

学生の専門：文学（日本近代文学）

副指導教員の専門：ジェンダー論

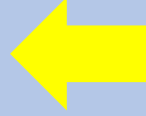
	授業計画	主な担当	授業内容
4月	第1回 オリエンテーション	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の研究対象（日本近代文学）を確認した上で、到達目標を提示する。</li> <li>・学生が行ってきたフィールドワーク等について報告を受け、受入機関の検討を始める。</li> </ul>
5月	第2回 課題の設定、研究手法（調査手法）についての講義	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー論分野の研究手法（調査・整理・分析手法）について学ぶ。</li> <li>・フィールドワーク／インターンシップ等への適用について検討する。</li> </ul>
	第3回 研究手法（整理・分析手法）についての講義		
6月 7月	第4回 実施計画の立案、受入れ機関選定	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画を立案する。</li> <li>・受入機関を決定し、受入の可否、期間等を打診する。</li> <li>・計画書が分野横断・融合的計画書になっているか検討を加え、先方からの受入許諾を受けて、実施計画を確定する。</li> <li>・リスクマネジメント、メンタルヘルスに関する指導を行う。</li> </ul>
	第5回 実施計画書の作成・リスクマネジメント、メンタルヘルスに関する指導		
	第6回 実施計画書の検討・策定		
8月 9月 10月	第7～第12回 フィールドワーク・インターンシップ等の実践	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画関連機関を拠点として現地調査研究やフィールドワークを行う等、実践活動を60時間以上実施する。</li> <li>・実践活動期間中、オンラインシステム等を用いて定期的に遠隔指導・助言等を行って、円滑な実施及び問題発生時の早期解決を図る。</li> <li>・受入機関でワークショップを開く等により、自らの専門知識や研究成果を説明、伝達し共有化を図る。</li> </ul>
11月	第13回 ワーキングペーパー作成に対する指導	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践活動終了後、活動報告書であるワーキングペーパーの作成にあたって、ジェンダー論分野の手法の適応を含めて議論する。</li> </ul>
12月	第14回 ワーキングペーパー作成	副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングペーパーを作成し、提出する。</li> </ul>
1月	第15回 フィードバックとまとめ	主指導 副（研究） 副（融合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会を開き、多元的情報収集、分野融合・学際的視点に関する研究基盤が形成されているかを議論して、フィードバックする。</li> </ul>

# 臨地研究の受講について

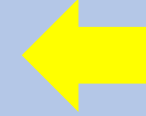
学  
生



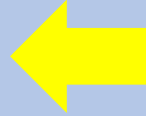
①受講申し込み・研究計画の提出



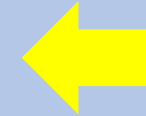
②実施機関の決定



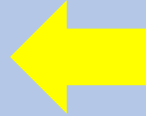
③実施機関の受入れ承諾書の提出



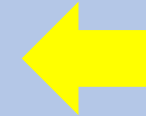
④事前指導



⑤臨地研究（60時間）



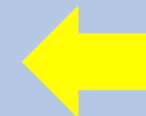
⑥事後指導



⑦成果報告書・修了証明書の提出



⑧単位認定



副指導教員（融合教育）